

- 松戸
- 上本郷
- 松戸新田
- みのり台
- 八柱
- 常盤平

本土寺の長い参道を抜け、仁王門をくぐる。小径が広がり四季折々の花木が迎えてくれます。特に紫陽花は有名で、別名「あじさい寺」とも呼ばれ、参拝者に親しまれています。

本土寺は、平賀家の屋敷跡と伝えられ、建治三(1277)檀家である有力な曾谷教信卿の協力により領内の地蔵堂をここに移して法華堂とし、日蓮聖人より長谷山本土寺と寺号を授かったのに始まります。本土寺の「本土」とは「我此土にわが」とつまり、お釈迦様が、本佛となつて住む国土「本土」に由来します。また、池上の長谷山本門寺、鎌倉の長興山妙本寺と共に「朗門の三長三山」と呼ばれる名刹です。



▲本土寺

本土寺

根木内城の築城には様々な説がありますが、多くは高城鳳吉により寛正3年(1462)に築かれたと伝えられています。この地は、縄文中期の集落跡や旧石器時代の遺物が集中する地点も発掘されており、根木内城が築かれる、はるか以前より人々の生活の場となつてきたことが解つています。

昭和30年代まで根木内城址はほぼ完全に残つていたのですが、国道6号線の建設により東西に分断され、城址の西半分は開発によりすっかり姿を変えてしまいました。東半分は大手口と郭が残されているのですが、大手の土橋や空堀、虎口は良い状態で保存されています。公園化される前は民家や雑木林と化していましたが、現在では郭内はきれいに整備されており、郭の周囲を囲んでいる土塁も見学できるよつになつています。城下には小川が流れており、湿地の様子を観察できる公園として開放されています。

根木内城(根木内歴史公園)

五香駅~根木内城(根木内歴史公園)~本土寺



- 五香
- 元山
- くぬぎ山
- 北初富
- 新鎌ヶ谷
- 初富
- 鎌ヶ谷大仏
- 二和向台
- 三咲
- 滝不動
- 高根公園
- 高根木戸
- 北習志野
- 習志野
- 薬園台
- 前原
- 新津田沼
- 京成津田沼

野馬除土手

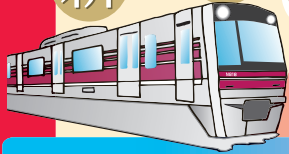
野馬除土手には、牧の放牧馬や数多く繁殖していた鹿や猪を牧内に封じ込め、農作物被害をなくすように周囲の村と牧の境に設けられたもの、また、優良馬等の選別を行う野馬捕りの際に野馬を

追い込むために造られたものなどがあります。構造的には、土手のみのもの、堀を伴うもの、他一重土手や二重堀を伴うものもあります。

松戸市内の野馬除土手の総延長は、明治十年度の測量図によると、約十キロにも及びました。現在のその姿は、部分的に残り高さメートル前後の土の盛り上がりに見えるかもしれませんが、かつてはその囲いの中をサラフレッドとはひと味違う野馬がたてがみをなびかせて駆ける姿があつたのでしょう。



▲野馬除土手



松戸

上本郷

松戸新田

みのり台

八柱

常盤平

五香

元山

くぬぎ山

北初富

新鎌ヶ谷

初富

鎌ヶ谷大仏

二和向台

三咲

滝不動

高根公園

高根木戸

北習志野

習志野

薬園台

前原

新津田沼

京成津田沼

小僧弁天(萬満寺)



▲小僧弁天

享保のころ、萬満寺十二代住職安禅和尚のころ、谷口村の豪農後田家の三男が六歳で弟子入りしました。

義真坊というその小僧は、利発で和尚に可愛がられました。一方では大変ないたずら者で憎まれ子でもあり、十三歳の時、いたずらが過ぎて銭買文を与えられ、寺を追われてしまいました。

日頃の恨みを晴らすのはこのときとばかり、二人の寺男が義真を捉え米俵に詰め、長津下の浜堀(現在馬橋付近)に投げ込んでしまったのです。義真は「この恨みは必ず子孫にたたくてみせる」と叫び残して死んでしまいました。遺体は古ヶ崎村に流れ着き、享保十六年(1731)六月二十日、田勝寺住職によってねころに葬られました。

その後、古ヶ崎の水堀には白蛇が現れるようになり、ある夜、村人の夢枕にたつて「私は萬満寺の小僧義真の化身。弁天にまつり供養せよ」と告げたので、坂川のほとりに祠を建ててまつり、小僧弁天と呼びました。

また節によると、十歳で得度した義真は過度の修行で身をこわし、寺を出て投身自殺してしまつたのですが、翌日、古ヶ崎に流れ着いた遺骸は村人によつて葬られ、傍りに一本の松が植えられました。後に村人の浄財で祠が建てられたのが小僧弁天。

義真の霊は白蛇となつて折々姿を現しました。

県立みさと公園



▲県立みさと公園

県立みさと公園は、江戸川と中川に挟まれた「小合溜」をはさんで東京都の水元公園と向かい合い、水辺に沿って広がる緑の公園です。この小合溜は、約260年前に造られた遊水池(川の水が急激に増水した時など、時的に水を調整する機能を持つ池)で、当時は江戸の町を洪水から守つたり、水田を潤すなど、とても重要な役割を果たしていました。

みさと公園では、さまざまな野鳥を観ることができ、また、バーベキュー広場、こどもの館、展望台、自由広場及び湿地を利用した自然観察園など子どもはもちろん、大人も楽しめる公園です。休日を家族や友人とバーベキューをして過ごすのもいいかもしれません。

これを見た人には良いことがあり、また、子供を失った母が祠に詣でると、夢に愛児が見れるとも言われました。

なお、昭和九年(1934)、萬満寺境内にも池が掘られ、弁天の祠が建てられました。

松戸駅~小僧弁天~県立みさと公園

約6.0km



ECO
エコでつながる
駅と街・人と心
新京成電鉄

※道路横断の際車には十分お気を付け下さい。